

平成19年9月21日

サキグロタマツメタの卵囊に関する情報

## 『サキグロの産卵始まる！』

水産研究開発センター

仙台地方振興事務所水産漁港部

本日(21日)、今年初めてサキグロタマツメタの卵囊が桂島の潮干狩り場で発見されたのでお知らせします。これは、昨年より8日早い発見です(昨年は9月29日に桂島で発見されました)。卵囊内はどれもまだ、あまり発生が進んでいない受精卵～桑実胚であることから、ここ数日以内に産み付けられたものと思われまます。

春から夏にかけて本種の卵囊とよく似た在来種のツメタガイの卵囊が見つかりますが、サキグロの卵囊の表面は蜂の巣のように凸凹しております。詳しい見分け方は水産研究開発センターホームページの「サキグロタマツメタに関する情報」に解説してありますので参考にしてください。

なお、今後、産卵は続くと思いますので、10月中旬までには駆除をするようにして下さい。日中に干潟が干出しない場合でも、胴長を着用すれば駆除できますし、小型の船上からも玉網ですくえますので時機を逸さないよう注意して下さい。卵囊1個からは数百から数千個の稚貝が孵出し、直後からアサリの稚貝を捕食します。



採取場所	採取数	卵囊直径	幼生のステージ(割合%)					孵出済み
			受精卵	桑実杯	前期幼生	中期幼生	後期幼生	
桂島	2	7.0cm	○					
		8.7cm		○				

▲ 9月21日10時00分 桂島潮干狩り場  
小型船より採捕(約10分間探索)